

# 状況記録写真

(様式6)

区分

自主

森林技術センター



平成11年度267ぬ耐陰性スギ下刈実行前

# 平成 1 1 年度技術開発実施報告書

様式 2 - 2

<b>課題名</b>	耐陰性スギ系統による無下刈試験				
課題区分	自主課題	開発 箇所	去川国有林 267ぬ林小班	開発 期間	平成10年度 ～ 平成20年度
当年度別実施計画			当年度実施報告		
<p>1, 下刈・無下刈</p> <p>2, 生長量調査</p> <p>3, 功程調査 (下刈)</p> <p>4, 枯損調査</p> <p>5, 実施結果</p>	<p>1, 下刈・無下刈 下刈区3箇所を下刈 作業方法: 全刈 実施時期: 8月 人工数: 2,000人</p> <p>2, 生長量調査 平成12年3月実施 調査野帳別途保管</p> <p>3, 功程調査 (下刈) 雑草木の繁茂が少ないため省略</p> <p>4, 枯損調査 下刈区: 3本 無下刈区: 0本</p> <p>5, 実施結果 下刈区に3本の枯損が発生しただけで、活着率及び生育ともに良好である。 クズ・フジ等のつる類が多く平成12年度につる切りを実施予定である。</p>				

# 技術開発実施報告・計画

様式 2

森林技術センター

課題	26 耐陰性スギ系統による無下刈試験	継続 新規	担当	森林技術 センター (業務第I係)	開発 箇所	去川国有林 267ぬ林小班				
目的	人工被陰施設(寒冷紗)で生育良好な苗木を植栽し無下刈試験林を設定。生育過程等を解明(実証)する。	開発期間		平成10年度～平成20年度						
年度別実施経過	12年度実施報告			年度実施計画						
	実施内容	備考 (評価及び普及指導)								
平成10年度 1, 地拵・植付 2, 調査プロット設定 3, 設定時調査 根元径・樹高・枝張り 4, 試験地標示  平成11年度 1, 下刈・無下刈 2, 生長量調査 根元径・樹高・枝張り 3, 枯損調査	1, 下刈・無下刈 下刈区3箇所を下刈実施 作業方法:全刈 人工数:1,500人  2, 生長量調査 平成13年1月実施 調査野帳別途保管  3, つる切 面積:0.27ha 人工数:3,000人  4, 枯損調査 下刈区:10本 無下刈区:8本	1, 実施結果 下刈区・無下刈区に10本・8本の枯損が発生しているが, 下刈・無下刈による上長生長等の差はほとんど無く各系統ともに生育良好である。		実施 計画	経費科目					
					内 訳	品名	数量	単価	金額	
						物件費				
						役務費				
						人件費	基職 臨時	( )人 人		
				計		( )		千円		

(注) 1 課題欄には, 技術開発課題名に番号を付して記入する。  
 2 実施報告欄には, 当該年度の開発成果を記入する。  
 3 備考欄には, 開発成果の評価等について記入する。

## 平成12年度実施内容

### 1, 下刈・無下刈

作業方法：全刈 実施時期：7月 人工数：1,500人

### 2, 生長量調査

系統名	下刈区		無下刈区		系統名	下刈区		無下刈区	
	根元径	樹高	根元径	樹高		根元径	樹高	根元径	樹高
肝属1	1.4	109	1.2	101	飯肥署6	1.2	88	9	87
肝属2	1.5	107	1.2	101	国東2	1.0	83	8	77
謙早1	1.3	105	1.2	103	日南7	1.1	77	8	69
杵島2	1.4	86	1.2	83	日向署2	1.4	107	1.1	100
熊本署5	1.5	113	1.1	90	宮崎署8	1.2	101	1.0	92
薩摩5	1.4	99	1.0	90	都城署5	1.1	86	9	91
藤津11	1.0	67	1.0	67	飯肥署7	1.3	106	9	90
日南4	1.2	98	1.0	87	宮崎署1	1.1	89	8	81
八女10	1.3	92	1.1	90	始良19	1.3	101	1.1	105
福岡署1	1.3	92	1.1	94	川辺14	1.3	98	1.0	101

(註) 単位 根元径：mm 樹高：cm

平成13年1月実施

### 3, つり切

作業方法：堀取り

人工数：3,000人

### 4, 枯損調査

下刈区：10本

無下刈区：8本

## 考察

下刈区・無下刈区に10本・8本の枯損が発生しているが、下刈・無下刈による上長生長等の差は、殆ど無く各系統ともに生育良好である。

- 記載要領
- 1 調査結果及び考察を記入する。
  - 2 状況写真は別途整理する。